

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 22 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25330401

研究課題名(和文) コンラート・ゲスナーによる16世紀ヨーロッパの出版情報の収集と組織化

研究課題名(英文) Conrad Gessner's collection and systematization of information of publications in the 16th century europe

研究代表者

雪嶋 宏一 (Yukishima, Koichi)

早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授

研究者番号：00507957

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,600,000円

研究成果の概要(和文)：ゲスナー『万有書誌』に収録された文献情報については実証的な研究がない。そこに含まれた文献情報を明らかにするため、全項目をデータベース化して研究を行った。本研究は次の点を明らかにした。チューリッヒ中央図書館所蔵のゲスナー手沢本『万有書誌』の研究から印刷上のヴァリエント・コピーを発見した。ゲスナーは同時代の出版業者が発行した出版目録から主に情報を収集していた。彼はその目録の記述方法を改良して、近代的な目録規則の基礎となる書誌記述要素を考案した。収録された印刷本を15-16世紀の書誌データベースを利用して版を同定すると、3295版を識別することができ、重複を除いた実質的な版は2,798件であった。

研究成果の概要(英文)：As for the document information which was included in Conrad Gesner's Bibliotheca universalis, so far, a positive research wasn't released.

To clarify the document information which was contained in this book, I built a database of all items included in it.

The research clarified the following points. I discovered variant copies in typesetting from the research of Gesner's annotation copy of Bibliotheca universalis housed in the Zurich Central Library. Gesner was collecting information on print books from the catalogues issued by the contemporary publishers. He improved the cataloguing descriptions and contrived the bibliographical description elements which become basics on the modern cataloguing rules. When I identified the editions of printed books included in Bibliotheca universalis with some bibliography database of printed books in the 15-16th century, I could count 3295 editions. The actual editions excluding repetitions was 2798.

研究分野：図書館情報学

キーワード：コンラート・ゲスナー 万有書誌 総覧 神学の分類 書誌記述要素 資料組織化 出版情報 初期印刷本

1. 研究開始当初の背景

本研究を開始する以前は国内にはコンラート・ゲスナーに関する情報は極めて少なく、『万有書誌』の内容を理解している学者もほとんどなく、研究を実際に行っている者は皆無であった。欧米での最新の研究もほとんど伝わっておらず、1990年代までの研究成果に基づいて研究を開始した。研究を始めて欧米での研究状況が明らかになったが、やはり2001年以降は優れた研究の発表はごく限られており、欧米でも研究が進展していなかったことが判明した。そのため、『万有書誌』にはどのような文献情報がどのくらいの数量が収録されているのか、それらはどのように収集され、どのような方法でそれらは記述されたのかという問題は未だ十分に解明されていなかった。

一方、ゲスナーが『万有書誌』に収録した文献については、ヨーロッパで構築されている15-16世紀の印刷本データベースが研究に役立つほど十分に発展しており、書誌データおよび全文のデジタル画像の入手が容易になっていたことから、『万有書誌』を現代の電子情報技術を応用して解明することができるのではないかという研究の方向性を見出すことができた。

2. 研究の目的

ゲスナーが『万有書誌』を編纂した16世紀前半の時代に文献はすでに印刷本が中心になっていたが、ゲスナー以前には印刷本の出版情報を明記した網羅的な書誌は作成されていなかった。このような時代にあってゲスナーがどのような方法で文献情報を収集して、版を識別することが可能な書誌記述方法をどのようにして考案し、組織化したのかという問題はこれまで十分に研究されていなかった。そのため、本研究では研究対象をゲスナーがチューリヒで1545-49年に刊行した一連の書誌である『万有書誌』(1545年)、『総覧』(1548年)、『神学の分類』(1549年)、『補

遺』(1555年)に収録された文献情報について現代の文献情報データベースを利用して解明することを目的とした。

この目的のために、ゲスナーが収録した文献情報の種類と数量を把握することを第1の課題とした。次に、文献情報の情報源を特定して、ゲスナーの情報収集の方法を知るところを第2の課題とした。そして、文献情報の内容を知るために、各文献情報の記述方法とその起源を解明して、それらが実際にどの版に対応するのか特定し、その特徴を考察することを第3の課題とした。それによって、ゲスナーがどのような方法でこれらの書誌を作成したのか解明することができると考えた。

3. 研究の方法

最初に、手元で自由に使用することができるテキストを確保するため、研究者本人が所蔵している『万有書誌』、『総覧』、『神学の分類』、『補遺』のマイクロフィッシュから全ページをプリントアウトした。さらに研究開始当時にアクセス可能になったオンラインの電子画像を全文ダウンロードしてテキストを確定した。また、日本国内に所蔵されている対象資料全てについて、テキストの差異、コピーの状態、コピーの由来等を現物調査した。続いて、ゲスナー旧蔵書に見られるゲスナー手沢本をチューリヒ中央図書館およびバーゼル大学図書館で調査して、テキストの内容、資料の状態、書き込みの内容と『万有書誌』や『総覧』との関係性を研究した。

それと同時に、『万有書誌』に収録された文献情報を解明するため、収録された全著者名項目をデータベース化し、各項目に記述された印刷本の記述を入力した。そして、それらを15-16世紀印刷本書誌データベースである *Incunabula Short title Catalogue (ISTC)*、*Verzeichnis der im deutschen Sprachbereich erschienenen Drucke des 16. Jahrhunderts (VD 16)*、*Censimento nazionale delle edizioni italiani del XVI*

secolo (EDIT 16) 、 Universal Short Title Catalogue (USTC) 、 e-rara 、 その他フランス、英国、オランダ、オーストリアの国立図書館目録およびOCLC WorldCat などを参照して、ゲスナーが記述した文献の実際の版を可能な限り特定した。そして、ゲスナーが書誌の中で挙げている情報源を探索して、ゲスナーの記述との整合を確認していった。

4. 研究成果

(1) 写本・印刷本情報の収集

ゲスナーの文献情報の収集は 1532 年から始まるフランスへ留学の時代に始まり、その後の各地への訪書の時代までに、パリ、リヨン、シュトラスブルク、バーゼル、フランクフルト、ヴェネツィアという当時の印刷出版中心地を訪れ、その地の印刷出版業者と交流して、出版販売目録などの出版情報を入手していた。

また、ゲスナーは各地の図書館を訪ねて所蔵資料を閲覧している。故郷チューリヒはもとより、パリ、ハイデルベルク、ポローニヤ、ヴェネツィア、アウクスブルクなどの図書館で古典文献、とりわけギリシア語写本を閲覧していた。また、現地を訪れることができなかったウィーン、フィレンツェ、ローマのヴァチカンの図書館の目録を収集してギリシア語写本の情報を得ていた。図書館所蔵資料の情報はそのほかにも学者のネットワークを通じて得ていたことは彼の書簡からもうかがわれるが、『万有書誌』には具体的な言及は見られない。

(2) テキストの確定

早稲田大学図書館所蔵の『万有書誌』について書誌学的に調査して、旧蔵者の書き込みから、本書がカトリック教会から禁書にされた後でもドイツ南部のテューゲナーの修道院で大切に扱われていたことが判明した。そして、早稲田コピーとの比較分析のため、チューリヒ中央図書館に所蔵されているゲスナー手沢本を含む 4 コピー、およびバーゼル大学図書館所蔵の 1 コピーの『万有書誌』を調査した。その過程で『万有書誌』の fol.454 裏に印刷上のヴァリエーションを発見した。ヴァリエーションはゲスナー自身による訂正追加による 1 ページ分のキャンセル（誤ったページを削除して、正しいページを新たに印刷して挿入すること）の結果生じたものであることが明らかになった。このキャンセルのため、実際にはそのページを含む折丁内の fol.453 表から fol.454 裏にかけての 4 ページ分を印刷し直していたことが判明した。それによって『万有書誌』の印刷過程の一端が明らかになった。

(3) 『万有書誌』に収録された著者名項目次に『万有書誌』に収録された著者名の数を

算定するため、収録された全著者名をデータベース化した。その結果、収録全項目数は 5,545 件、のうちクロスレファレンスが 192 件、人名解説項目が 76 件あるため、実質の人名項目は 5,277 名であった。しかし、1 項目内に複数名の名前が記述された例や、同一人物が 2 項目に分かれた例があるため、現時点で正確な人数を示すことはまだ難しいため、おおよその数として約 5,200 名と算定した。

(4) 人名の情報源と人名項目について
それらの人名の情報源となったものは、『万有書誌』序文に記述された『スーダ』などの古典文献、図書館、図書館目録、参考文献、トリテミウスなどの参照目録を中心として、その他の文献も利用されていた。ゲスナーはこれらの人名をおおむね名・姓のアルファベット順に並べ替えて配列した。ゲスナーは著者ばかりでなく、編者、訳者、校訂者、注釈者、序文執筆者なども人名の項目として区別なく立て、同じ書物を多元的に検索できるようにいわゆる副出、分出を行っていた。ゲスナーの人名の情報源の一つとなった『アンゲルスの良心問題大全』について早稲田大学図書館所蔵本を考察した。ゲスナーが実際に利用した『アンゲルスの良心問題大全』は早大本と同じ 1495 年ヴェネツィア版であった。ゲスナーは本書にある法学者の一覧を利用して、チューリヒ中央図書館所蔵のゲスナー旧蔵『アンゲルスの良心問題大全』の書き込みと『万有書誌』の記述から明らかであった。ゲスナーは情報源が他に得られないような法学者の情報を本書から知りえたのである。

(5) 書誌記述要素の起源と成立について
『万有書誌』で採用された書誌記述要素の起源について検討した。ゲスナーは印刷出版業者の出版販売目録を収集した。それらから書誌記述の方法を学んで、著者名、書名、印刷地、印刷者、印刷年、判型、折丁数ばかりでなく、独自に内容注記や序文の引用、付録の注記（特に索引の有無）等の要素を加えて、印刷本にふさわしい書誌記述要素を考案した。この書誌記述要素は近代の図書館の目録記述要素の起源となるものである。こうして、ゲスナーはトリテミウスによる中世以来の著者の略伝を主体とする著者目録を基にして、ゲスナーは書物の書誌記述を主体とする記述方法を編み出して新しい著者名目録を作成した。

(6) 『万有書誌』に収録された印刷本について

『万有書誌』に収録された印刷本の情報を出して、ゲスナーがどのような文献情報を収録していたのかを、ゲスナーの記述レベルでの範囲を印刷別、印刷地、印刷業者別に集計した。ゲスナーは 1469 年から 1545 年までに刊行された印刷本 4,000 件以上を収録していた。そのうち版がほぼ同定可能なものが 3,295 件であった。それらの主要な印刷出版

地はバーゼル、ヴェネツィア、パリ、リヨン、シュトラスブルク、ケルンであり、当時のヨーロッパ大陸部の印刷出版中心地の印刷本の情報が主に収録されていた。

ゲスナーは同じ版を副出・分出していたことから、版は重複して別な項目にも記述されていた。したがって、これらのデータから重複を除いた印刷本の版を確定して、印刷本の版の特徴を印刷年、印刷地、印刷業者の別に算定した。それによって、ゲスナーがどのような版について言及していたのかが明らかになった。重複を除いた実質の版数は2,798版であり、主要な印刷出版地の記述レベルと重複を除いた版数は表1の通りである。

(7) 『万有書誌』に収録された印刷本の特徴

『万有書誌』に収録された版の印刷出版者ではヴェネツィアのアルド印刷所の印刷本が最も多く記述され、続いてバーゼルのペトリ印刷所、リヨンのセバスチャン・グリフ、バーゼルのフローベン印刷所、バーゼルのロベルト・ヴィンターの順であった(表2参照)。とりわけ、アルド印刷所から1499年に出版されたギリシア語書『哲学者、弁論家、修辞家書簡集』は『万有書誌』の中でマイナーなギリシア学者について26回も参照されており、最大の言及回数であった。ゲスナーはアルド版をこのように重複して言及することが多く、ギリシア語学者としてのゲスナー関心を如実に示していたとみなすことができる。

ゲスナーは『万有書誌』の標題紙でラテン語、ギリシア語の文献を対象としたと記述していた。ところが、版を確定する過程で、ゲスナーがラテン語、ギリシア語、ヘブライ語以外の俗語の印刷本も『万有書誌』と『総覧』に収録していたことが判明した。ドイツ語文献31件、フランス語文献6件、イタリア語文献3件が収録されていたことを確認した。中でも、1533年に刊行されたドイツ語版マルティン・ルター著作目録は、ゲスナーによって全文がラテン語に翻訳されてルターの項目に掲載されていた。

(8) 『総覧』および『神学の分類』について

『総覧』『神学の分類』における分類システムの細部について考察した。ゲスナーは、コンラート・ペリカンが1532年に編纂を始めたチューリヒ大聖堂図書館の目録の分類法を参考にしながらも、それに準拠するのではなく、中世以来の伝統的なスコラ学の分類体系に基づいて21分類を構成していた。分類の細分化では liber、titulus、pars、segmentum、paragraphus、locus という6段階の独自の細分化システムを作り上げたが、細部には不統一な部分もあった。最小区分の locus についてはすでに A. セッライが40,119件と算定していたが、それよりも多い40,130件と算定することができた。ゲス

ナーは各区分の中で、書誌の書誌、人物文献索引、主題文献索引、植物名索引、動物名索引などの多様な索引を編集しており、ゲスナーの分類目録の大きな特徴といえよう。

ゲスナーがなぜ4万におよぶような Locus を立てることができたのかという問題について、ゲスナーの Locus 作成方法の一端を解明した。ゲスナーが『総覧』の中で頻繁に参照していた Caelius という人物の文献を調査することで、それが明らかになった。Caelius とはイタリア人リッキエーリ(Ricchieri, Lodovico, 1469-1525)であり、ゲスナーが参照した文献はバーゼルのフローベン版『古代学講義30書』(1542年刊)であった。ゲスナーは本書の前付けにある260ページにわたる各章の索引を章ごとに短冊状に切り取って、それらを『総覧』の分類に合わせて並べ替えて Locus として章の内容を記述していた。ゲスナーはこのような情報源をいくつか持っていて、それらを有効に利用していたのである。

表1

出版地	記述レベルの版数	重複を除いた実質の版数
バーゼル	1,028	774
ヴェネツィア	475	350
パリ	326	313
リヨン	284	275
シュトラスブルク	247	217
ケルン	233	198

表2

出版業者	出版地	記述レベルでの版数	重複を除く実質版数
アルド印刷所	ヴェネツィア	201	112
ペトリ印刷所	バーゼル	182	135
セバスチャン・グリフ	リヨン	168	158
フローベン印刷所	バーゼル	162	133
ロベルト・ヴィンター	バーゼル	128	99

<引用文献>

『万有書誌』の情報源について考察した戸

田慎一の論文(「*Bibliotheca universalis* 編纂のための情報源」、『図書館学会年報』vol. 33, No. 1, 1987, p. 1-9)がわずかにあるのみであった。

2001年以降の論考としては、Leu U. B., Raffael Keller, Sandra Weidmann, *Conrad Gessner's private library*, Leiden: Brill, 2008; Sabba, F., *La 'bibliotheca universalis' di Conrad Gesner: monumento della cultura europea*, Roma: Bulzoni Editore, 2012等があるが、活発な議論は行われていなかった。

The British Library, Incunabula Short Title Catalogue, URL: <http://www.bl.uk/catalogues/istc/> (accessed 2-16-6-15).

Bayerische Staatsbibliothek, Verzeichnis der im deutschen Sprachbereich erschienenen Drucke des 16. Jahrhunderts, URL: https://opacplus.bib-bvb.de/TouchPoint_touchpoint/search.do?methodToCall=switchSearchPage&SearchType=2&emptyFields=true (accessed 2016-6-15).

Istituto Centrale per il catalogo unico delle biblioteche italiane e per le informazioni bibliografiche, Censimento nazionale delle edizioni italiani del XVI secolo, URL: http://edit16.iccu.sbn.it/web_iccu/ihome.htm (accessed 2016-6-15).

The University of St Andrews, Universal Short Title Catalogue, URL: <http://ustc.ac.uk/index.php> (accessed 2016-6-15).

e-rara.ch, die Plattform für digitalisierte Drucke aus Schweizer Bibliotheken, URL: <http://www.e-rara.ch/> (accessed 2016-6-15).

OCLC, WorldCat, URL: <https://www.worldcat.org/> (accessed 2016-6-15).

Serrai, A., *Conrad Gesner*, Roma: Bulzoni Editore, 1990, p. 99-202.

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 8件)

雪嶋 宏一、コンラート・ゲスナー『万有書誌』に収録された印刷本について、学術研究：人文科学・社会科学編、査読なし、62号、2014、pp. 77-97、<http://dspace.wul.waseda.ac.jp/dspace/handle/2065/41359>

雪嶋 宏一、イタリアの全国書誌 *La libreria del Doni Fiorentino* について、早稲田大学図書館紀要、査読なし、61号、2014年、pp. 1-30、

<http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/kiyou/61/pdf/07-yukishima.pdf>

雪嶋 宏一、ゲスナー『万有書誌』に収録された印刷本書誌情報の研究調査、学術研究：人文科学・社会科学編、査読なし、63号、2015、pp. 75-91、

https://dspace.wul.waseda.ac.jp/dspace/bitstream/2065/44874/1/GakujutsuKenkyu_Jinbun_63_Yukishima.pdf

雪嶋 宏一、コンラート・ゲスナー『万有書誌』の印刷ヴァリエーションについて、早稲田大学図書館紀要、査読なし、62号、pp. 1-35、<http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/kiyou/62/pdf/08-yukishima.pdf>

雪嶋 宏一、西洋古版本の来歴に関する最近の研究、現代の図書館、査読あり、Vol. 53, No. 2, pp. 51-57.

雪嶋 宏一、コンラート・ゲスナーの『万有書誌』：書誌学の誕生、文献探索人、査読なし、2014、pp. 121-126.

雪嶋 宏一、コンラート・ゲスナー『総覧』および『神学の分類』の分類体系に関する研究、学術研究：人文科学・社会科学編、査読なし、2016、pp. 79-94.

Yukishima, Koichi, Variant copies of the *Bibliotheca Universalis*, Zwingliana, 査読あり、43, 2016 (印刷中).

<http://www.zwingliana.ch/index.php/zwa/index>

[学会発表](計 4件)

雪嶋 宏一、コンラート・ゲスナー『万有書誌』に収録された印刷本について、2013年日本図書館情報学会春季研究集会、筑波大学筑波キャンパス春日エリア、2013年5月25日.

雪嶋 宏一、ゲスナー『万有書誌』に収録された印刷本書誌情報の研究調査、2014年日本図書館情報学会春季研究集会、日本女子大学目白キャンパス、2014年5月24日.

雪嶋 宏一、ゲスナー『総覧』および『神学の分類』の分類システムについて、2015年日本図書館情報学会春季研究集会、京都ノートルダム女子大学、2015年5月30日.

Yukishima, Koichi, *Bibliotheca Universalis and the Aldine Press*, International Conrad Gessner Congress, University of Zurich, Faculty of Theology, Institute for Swiss Reformation Studies, Zurich, Switzerland, 8 June 2016.

[図書](計 2件)

雪嶋 宏一、旅と文献情報の収集：16世紀コンラート・ゲスナーの場合、松田隆美編、旅の書物/旅する書物、慶應義塾大学文学部、2015、pp. 3-37.

雪嶋 宏一、コンラート・ゲスナーによる16世紀ヨーロッパの出版情報の収集と組

織化、早稲田大学雪嶋研究室、2016、189 pp.

〔産業財産権〕

出願状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等
コンラート・ゲスナーによる 16 世紀ヨーロッパの出版情報の収集と組織化、URL:
<http://www.f.waseda.jp/yukis/gessner.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

雪嶋 宏一 (YUKISHIMA, Koichi)
早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授
研究者番号：00507957

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：